

## 平成 29 年度各事業の中期計画に係る進捗及び評価について

(平成 29 年 8 月～平成 30 年 3 月)

## 1 高大連携部会

	会議	行事
29. 9.20	平成 29 年度高大連携部会 幹事会 (第 1 回) ・平成 28 年度事業報告 ・法人中長期計画策定にかかる進捗報告 ・勉強会の方向性および実施検討	
10.21		高大連携・接続勉強会 (第 3 回・国語)
11.11		高大連携・接続勉強会 (第 3 回・地歴・公民)
11.15	平成 29 年度大阪中学生サマ・セミナー推進連絡会 (第 2 回) ・平成 29 年度実施報告 ・法人中長期計画報告 ・次年度事業実施検討	
12.22	平成 29 年度高大連携部会 (第 1 回) ・法人中期計画報告 ・高大連携部会方向性検討	
30. 3.4		高大連携・接続勉強会 総括フォーラム 「大学入試改革を見据えて、今、現場がすべきこと。」

## 【高大連携・接続 勉強会】

平成 28 年 9 月に行われた高大連携部会幹事会において開催が決定し、同年 11 月の高大連携部会において承認された本勉強会は、3 年にわたり、「入試改革を見据えた指導とその評価方法に切り込む」をテーマとして、1 年ごとに特定科目に焦点をあて、3 回の勉強会と総括フォーラムを実施することとしている。初年は国語科と地歴・公民科（社会科）を取り上げ、平成 28 年度中に第 1 回（平成 29 年 2 月、3 月）、第 2 回（平成 29 年 6 月）の勉強会を行った。年度を跨ぎ平成 29 年 10 月、11 月には第 3 回勉強会を実施。平成 30 年 3 月にはフォーラムを開催し、文系科目における勉強会の総括を行った。

## 【会員大学オープンキャンパス 情報提供】

平成 28 年度第 1 回高大連携部会幹事会において、高校側からの要望により、会員大学のオープンキャンパスの開催情報を大学コンソーシアム大阪で一元化し、本法人 HP での発信を試みた。会員 38 大学の協力を得て、府下の教育委員会等を通じて、高校や高校生に広く情報を活用してもらうよう働きかけを行った。

### 【大阪中学生サマー・セミナー】

平成 20 年に大阪府教育委員会より事業移管され、高大連携部会事業として約 10 年間にわたり推進してきたが、平成 29 年 9 月に策定された本法人中期計画に基づき、同年 12 月の部会において大学コンソーシアム大阪における本事業の意義について再確認を行った。

結果、本事業はコンソーシアムや大学が一方的に費用負担して行うものではなく、元々の経緯から教育委員会においても積極的に予算措置を講じてもらうよう働きかけるべき、また事業の性格から今後は高大連携部会ではなく、地域連携部会において検討されたいとして事業移管の方向で地域連携部会と調整することとした。

それをうけ、平成 30 年度事業は休止とし、教育委員会と再度本事業の取り扱いについて協議しながら、継続の折には地域連携部会にて検討することとしている。

#### ○進捗状況

9 月から 11 月にかけて、高大連携・接続勉強会は国語と地歴・公民を取り上げ、3 回の勉強会を行い、30 年 3 月には、総括フォーラムを行った。

勉強会参加者数合計 高校関係者 78 名 大学関係者 28 名

フォーラム参加者 高校関係者 45 名 大学関係者 37 名 その他 4 名

中学生サマー・セミナーは 30 年度から中止とした。

#### ☆評価

中期計画どおり、進捗している。

## 2 大学間連携部会

	会議	行事
29. 8.5		前期 センター科目終了
9.1		単位互換科目 追加募集開始 (9/20 まで)
9.5		集中 センター科目終了
9.26		後期 センター科目開講
10.23		SD 講師養成プログラム
10.25～28		海外 SD 研修 (台湾・台北)
11.2	平成 30 年度大学間連携部会 企画委員会・ 単位互換実務委員会 合同会議 (第 1 回) ・平成 29 年度事業報告 ・平成 30 年度事業の方針	
11.29	平成 30 年度単位互換実務担当者説明会	
12.5	平成 29 年度 SD 研修準備委員会 (第 1 回) ・事業報告 ・今後の SD 研修事業について	
30. 1.17		海外 SD 研修 (台湾・台北) 報告会
2.1、2		平成 29 年度国際交流担当者研修
2.3		後期 センター科目終了
2.19	平成 29 年度 SD 研修準備委員会 (第 2 回) ・事業の総括 ・次年度以降の体制について	
3.12		Web シラバス公開
3.22		平成 30 年度 単位互換 1 次募集開始 (4/11 まで)

### 【単位互換事業】

- ・センター科目 … 科目数 12 科目 (新規 3 科目、昨年度の 1 科目が不開講)

出願者数 427 名 (前年は 279 名)

- ・オンキャンパス科目 … 科目数 362 科目

出願者数 205 名 (前年は 376 名)

出願者数は、センター科目が増加した分、オンキャンパス科目が大幅に減少したが、センター科目と合わせた総出願者数は昨年より大きな変化がなく、出願者がセンター科目に流れたと推察される。

今後においては、学生が受講したくなるような科目の充実と、時間帯の拡大、集中科目を増やすことが課題となっている。

平成 30 年事業では、359 科目が開講予定で、学生の出願は 3 月 22 日 (3 月 12 日シラバス公開) から開始。提供科目の内訳は下記のとおり。

- ・センター科目 … 11 科目 (前年比 1 科目減)
- ・オンキャンパス科目 … 359 科目 (前年比 3 科目減)

## 【SD 研修事業】

平成 29 年度においては、下記 3 つの SD 研修を実施した。

《実施研修、参加者内訳》

- ・平成 29 年 8 月「SD 講師養成プログラム 6 大学（うち会員外 1）、8 名（うち会員外 2）
- ・同年 10 月「海外 SD 研修（台湾・台北）」9 大学（うち会員外 3）、11 名（うち会員外 3）
- ・平成 30 年 2 月「平成 29 年度 国際交流担当者研修」24 大学（うち会員外 15）、30 名（うち会員外 19）

なお、本法人中期計画において、本事業は大学間連携部会から独立し、「研修部会」が新たに設置されることが決定している（平成 30 年 4 月 1 日を予定）。これをうけ、これまで SD 研修事業を企画・運営していた「SD 研修準備委員会」は平成 30 年 3 月末をもって解散とし、「研修部会」のもとに新設する「研修部会 推進委員会（仮称）」において進められることとなる。

## 【単位互換事業】

### ○進捗状況

出願者数は、センター科目と合わせた総出願者数は 6 3 2 名であり昨年の 6 0 6 名と大きな変化がなく、出願者がセンター科目に集中したと推察される。

### ☆評価

中期計画どおり、進捗しているが、今後においては、学生が受講したくなるような科目の充実と、時間帯の拡大、集中科目を増やすことを検討したい。

## 【SD 研修事業】

### ○進捗状況

SD 研修として 3 回の研修を行った。

### ☆評価

中期計画どおり、進捗しているが、今後においては、ニーズに応じた研修の実施を行うため、新たに「研修部会」を設置して対応する。

## 研修部会（平成 29 年度まで SD 研修準備委員会）

○大学間連携部会 SD 研修準備委員会で事業を推進していた研修事業については、大学間連携部会から独立し、平成 30 年度から新たに設置される研修部会で担当する。

### 3 インターンシップ部会

	会議	行事
29. 9. 1	平成 29 年度インターンシップ部会 推進委員・コーディネーター合同会議 (第 3 回) ・事後研修について ・次年度の計画について	
9. 24		「平成 29 年度インターンシップ・プログラム」 事後研修、交流会 (会場：関西大学)
11.13	平成 30 年度推進委員・コーディネーター 合同会議 (第 1 回) ・平成 29 年度事業報告 ・平成 30 年度事業方針について	
12. 14	平成 29 年度インターンシップ部会 (第 1 回) ・平成 29 年度事業報告 ・平成 30 年度事業方針について	
30. 3. 19	平成 30 年度インターンシップ・プログラム 事業説明会 ・実務スケジュール、フローについて ・学生募集ガイドについて	
		インターンシップ講演会 ～アメリカの事例と日本の現状～

平成 29 年度事業における学生の参加状況は下記のとおり。

- ・就業体験型インターンシップ… 出願者数 22 大学 218 名、実習者数 186 名  
企業・団体エントリー数 99 社 (団体)

平成 30 年度事業では、就業体験型インターンシップでは昨年の協力先に加え、新たに大阪商工会議所の協力を得て、企業等へ実習生の受け入れを依頼している。また、プロジェクト型インターンシップについては、これまでは地域の課題解決をテーマとして実施してきたが、平成 30 年度においては、大阪市経済戦略局の依頼により大阪テクノマスター企業 (市のものづくり産業において、卓越した技術をもち、その技術の継承や新しい分野への挑戦に積極的に関わる人材として認定された者) の魅力発信を学生目線で考え提案するプロジェクトを実施する予定としている。

また、大学関係者や企業への情報提供の場として、インターンシップ先進国であるアメリカの事例報告や日本の現状について共有し、いまインターンシップにおいて大学ができることについて意見交換を行う講演会を 3 月 19 日に開催した。

## ○進捗状況

### 【就業体験型インターンシップ】

29年度の就業体験型インターンシップでは、出願者数 22 大学 218 名、実習者数 186 名、企業・団体エントリー数 99 社（団体）となり、28年度に比べ、出願大学で3校の減、出願者数では23名の増、実習者数では17名の増、企業・団体エントリー数では3社の減となった。

大阪商工会議所と連携して、企業等へ実習生の受け入れ先の拡大を図る予定である。また、30年3月には、アメリカの事例と日本の現状についての講演会を開催した。

### 【プロジェクト型のインターンシップ】

プロジェクト型のインターンシップは実施しなかった。

## ☆評価

中期計画どおり、進捗しているが、今後も受け入れ企業の拡大を目指したい。平成30年度にはプロジェクト型のインターンシップは実施予定である。

## 4 国際交流部会

	会議	行事
29. 8.28	平成 29 年度国際交流部会 推進委員会 (第 1 回) ・中長期計画策定にかかる進捗報告 ・グローバル人材育成事業 (報告) ・2017 年日台国際交流事業について	
8.29		グローバル人材育成講座 (基礎編) (8/29、30、31、9/4)
9.2		国内学生・留学生交流イベント (9/2、5、7、8、9)
10.25		台北大阪高等教育会議、台湾・台北にて (~10/27)
11.25		グローバル人材育成講座 (実践編：経済活動コース) (11/25、26、12/2)
12. 9		グローバル人材育成講座 (実践編：国際協力コース) (12/9、16、17)
12.18	平成 29 年度国際交流部会 推進委員会 (第 2 回) ・平成 29 年度事業報告 ・中期計画策定にかかる報告 ・平成 30 年度事業の検討	

### 【日台国際交流事業】

平成 29 年 10 月に台湾の実践大学 (台北) において高等教育会議 (シンポジウム) が開催された。今回はこれまでの学長クラスを中心とした内容に加え、会員校を中心とした職員が SD 研修として本シンポジウムに参加し、グループディスカッションを行うなど交流の幅を広げる形で行われた。

また、シンポジウム前後の日程で台湾教育部 (日本の文部科学省に相当) 訪問や FICHET (台湾財団法人高等教育国際合作基金会) の会員校の見学などを行った。

### 【グローバル人材育成事業】

8 月下旬から 12 月にわたり、「グローバル人材育成講座 (基礎編)・(実践編)」、「国内学生・留学生国際交流イベント」を開催した。本事業は講師派遣などで、関西経済連合会、太平洋人材交流センター (PREX) の協力を得て実施している。

#### ・グローバル人材育成講座

基礎編、実践編 (経済活動、国際協力の 2 コース) を 3 日間の短期集中で開講し、経済活動と国際協力の観点から、学生ワークショップを通じて「グローバル人材」としての必要な資質について学んだ。

《参加状況》

- ・基礎編 6大学9名
- ・実践編（経済活動コース） 5大学7名
- ・同上（国際協力コース） 5大学8名

・国内学生・留学生国際交流イベント

国内学生と留学生が「大阪」をキーワードに交流を深め、異なる文化の立ち位置からの見方を学び、世界への関心や視野を広げることを目的に開催した。「大阪のまちあるき」や「在阪企業の工場見学」、大阪発のグローバルサービスを学生自らが企画する「アイデアソン（アイデア+マラソン）」といった活動を通じて交流を深めた。

《参加状況》 11大学24名（うち留学生10名）

○進捗状況

日台国際交流事業である高等教育会議を台北で開催し、コンソーシアム大阪の会員大学から5名の学長・副学長が参加し、あわせて会員校を中心とした職員10名がSD研修として本シンポジウムに参加した。

グローバル人材育成講座と国内学生・留学生国際交流イベントも開催した。

☆評価

中期計画どおり、進捗しているが、グローバル人材育成講座と国内学生・留学生国際交流イベントでは、参加学生からの評価は高いが、募集定員を満たしていないため、時機にあった内容での開催や単位互換科目として実施を目指したい。



## 5 地域連携部会

	会議	行事
29. 9. 11		地域連携 学生フォーラム 学生発表者 事前交流会
10. 1		地域連携 学生フォーラム in 大阪 2017
30. 3. 2	平成 29 年度 地域連携部会 推進委員会 (第 1 回) ・平成 29 年度事業報告 ・法人中期計画 報告について ・次年度方針の検討について	

### 【地域連携 学生フォーラム in 大阪】

学生が地域と関わりながら取り組む研究活動や事業実施の内容について、学生（会員大学からの公募）による発表交流会を開催。学生主体のイベントとするべく、有志学生の企画メンバー（5 大学 18 名）が参画し、フォーラムの企画や当日の運営などを行った。

また、当日は学生発表者を含め 154 名が参加者し、学生による司会進行のもと、参加者間で活発な意見交換が行われた。

#### ○進捗状況

地域連携フォーラム 2017 in 大阪を 10 月 1 日に開催し、13 大学からの 14 件の発表があり、合計で 154 名が参加した。29 年度と比較して、大学数では 7 大学、発表では 5 件、参加者では 50 名の増加となっている。

#### ☆評価

中期計画どおり、進捗している

今後も学生が企画し開催するという学生主体の取組となるように進める。

### ☆計画全体の評価

おおむね中期計画通りに進捗している。

今後は、新たに仮称であるが、企画運営委員会を設置し部会間の情報共有、部会横断的な事業の企画・実施を円滑に行うように進める。